

各 位

平成20年5月29日

会 社 名 三菱製紙株式会社

代 表 者 取締役社長 佐藤 健

(コード番号 3864 東証・大証 第一部)

問合せ先 洋紙事業部 営業管理部長 玉井 正彦  
社長室 関連会社統括部長 半田 常彰

Tel. 03-3213-3727

## 物流子会社の統合に関するお知らせ

当社の連結子会社であります浪速通運株式会社（以下、「浪速通運」）と花の木物流株式会社（以下、「花の木物流」）は、平成20年5月29日開催の取締役会にて、平成20年7月1日を期して両社が合併することを決定いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

### 記

#### 1、合併の目的

浪速通運は、三菱製紙製品の名古屋以西の消費地、並びに、当社京都工場・高砂工場の自動車運送業務、倉庫業、及び、工場構内作業を中心に50余年に亘り社業を運営してきました。さらに、時代の変遷に併せ「総合物流企業」として、三菱製紙以外のお客様に対する業務も積極的に拡大してきております。

また、花の木物流は、当社製品の最大消費地である関東地区・仙台地区にて、自動車運送業務、通運業務、倉庫荷役業務を行い、三菱製紙製品の東日本に於ける消費地物流の基幹を担ってきております。

このたび、総合物流企業として伸長している浪速通運が、三菱製紙製品の最大消費地である関東地区に業務範囲を拡張することにより、「三菱製紙グループの総合物流企業」として一層の発展と、スケールメリットを活かした三菱製紙製品の総合的な物流サービスと効率化を図ってまいります。

現在、三菱製紙グループは、中期経営計画である「ポストフェニックスプラン」を強力に推進しております。この計画の基幹を成す「コスト構造改革」の一環として、このたび物流会社の統合を行なうこととしました。さらに、この統合会社は、今後の三菱製紙グループの物流諸施策の中核を担ってまいります。

#### 2、合併の要旨

(合併の日程)

合併契約書を締結	平成20年5月29日
合併契約書承認株主総会	平成20年6月16日 (予定)
合併効力発生日	平成20年7月 1日 (予定)

(合併方式)

存続会社は浪速通運とし、花の木物流を吸収合併します。

### 3、合併当事会社の概要 (平成20年3月31日現在)

	存続会社	消滅会社
商号	浪速通運株式会社	花の木物流株式会社
主な事業内容	通運事業、一般貨物自動車運送事業、貨物利用運送事業、倉庫業、産業廃棄物収集運搬事業	一般貨物自動車運送事業、貨物利用運送事業、通運事業、倉庫業
設立年月	昭和28年2月	昭和46年4月
本社所在地	大阪市福島区	東京都足立区
代表者	代表取締役社長 犬束 孝	代表取締役社長 中瀬 一夫
従業員数	174名	26名
決算期	3月31日	3月31日
株主	三菱製紙株式会社 92.6%	三菱製紙株式会社 100%
資本金	90,000千円	25,000千円
売上高	9,150百万円 (20年3月期)	2,086百万円 (20年3月期)

### 4、合併後の当事会社の概要

商号	浪速通運株式会社
主な事業内容	通運事業、一般貨物自動車運送事業、貨物利用運送事業、倉庫業、産業廃棄物収集運搬事業
本社所在地	大阪市福島区
代表者(予定)	代表取締役社長 犬束 孝
決算期	3月31日
株主	三菱製紙株式会社 100%
資本金	90,000千円

※平成20年4月28日発表の「株式交換による浪速通運株式会社の完全子会社化に関するお知らせ」のとおり、平成20年5月30日に、浪速通運株式会社は当社の完全子会社になる予定です。

### 5、業績に与える影響

本合併の両当事会社は、当社の連結子会社であるため、当社の平成21年3月期業績への影響は連結、単体決算ともに軽微です。

以上